

令和4年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録【こども環境科・介護環境科】

日 時 令和4年5月18日(水) 16:00~17:15

場 所 学校法人 ほっかいどう学院 くしろせんもん学校 3階 第7講義室

出席委員 北構 和代 (釧路市私立保育園連合会副会長、昭和どんぐりの家保育園 園長)

山本 綾子 (釧路聖母幼稚園 園長、釧路市私立幼稚園連合会理事・会計)

戸田 竜也 (北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授)

小野 信一 (日本福祉教育・ボランティア学習学会)

住尾 盛 (釧路市PTA連合会 顧問、昭和中央2丁目町内会 会長)

欠席委員 伊東 義光 (北海道介護福祉士会釧路支部 支部長・道東勤医協 高齢者住宅すずらん 管理者)

出席職員 杉村 典史 (くしろせんもん学校 校長)

武藤 篤訓 (くしろせんもん学校 副校長)

氏原 陽子 (くしろせんもん学校 こども環境科 学科長)

赤神 正倫 (くしろせんもん学校 こども環境科 教員)

伊東 利恵 (くしろせんもん学校 介護環境科 教員)

長谷 由香 (くしろせんもん学校 介護環境科 教員)

若生 みゆき (くしろせんもん学校 事務主任)

配付資料 ①レジュメ (委員名簿・次第など)

②令和3年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録

③令和3年度 学校関係者評価の結果

④学校関係者評価のための各種資料

(出前、来校一覧・年間行事計画・オープンキャンパスチラシ・修学資金貸付制度チラシ他)

1. 開会 (司会:氏原)

2. 開会にあたって

(1) 挨拶および経過報告 (杉村)

(2) 今年度の委員と学校職員の紹介 (各委員への委嘱)

(3) 司会者の決定 (戸田委員選出)

3. 次第 (司会:戸田委員)

(1) 令和3年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録の確認 (若生) 資料②参照

(2) 令和3年度の学校関係者評価結果について 資料③参照

①報告 (学校から)

②報告に対する質疑応答

住尾委員

アルバイトでの勤務態度について、2年生になると一般の職員と同じ目線で仕事をしてくれる。実習を積み重ね、「社会慣れ」につながっていると推測する。学生指導に力を入れている結果でもあると感じた。

戸田委員

学生の育ち方を違った角度から見ることもできるのかもしれない。

小野委員

とにかく学校をアピールして欲しい。もっと具体的に、もっと強力に。SNSなど活用しながら、継続的に行う。学生と一緒に作ることもしてもらいたい。PRに終わりはない。介護の日(11/11)に向けて何か考えてみて欲しい。

北構委員

保育士・介護福祉士を、強い志を持って目指す学生だけが入学するわけではないことが分かった。また、専門学校が専門職を輩出するだけではないことも。目指すものが違うと気づいて進路変更した学生について、気づけたことは大事なことだと感じる。

戸田委員

本会議に参加し、教員の努力だけでなく、環境部分の大切さを感じるようになった。免許や資格を取りたいと思ってもらえるか、現場をどう魅力的に伝えるか、自治体レベルで考える必要があると思う。フォーラム開催も検討中。

学校側回答（氏原）

ネットワークが欲しいと思っている。

（赤神）

自己肯定感が低い学生には、小さな悩みでも聞いてあげたい。2年間でできるだけ、生活などについてもアドバイスして行きたい。

（伊東）

11月11日は、何か実施したいと思っている。具体的にはこれから。

（長谷）

自分自身にもスキルアップが必要だと思っている。学び直ししたい。最近の傾向として、動画を使用すると集中力が違うように感じる。

住尾委員

小中校の上級学校見学がもっと来てくれると良い。専門職になるための勉強内容を伝えることで、具体的な将来像を想像できるのではないかな。直接的にアピールできる場所だと思う。

戸田委員

学生や現場職員の、保育・介護を選んだきっかけや道りを聞くのも良いかもしれない。

小野委員

子どもの職業体験で、福祉体験できる場所は珍しいかもしれない。遊びの延長でいいので体験出来たら良い。また、養成校同士、似た悩みを抱えている可能性もあるので情報交換などしてみてもどうか。

北構委員

出前授業はどのような形で実施しているのか。また、利用するにはどうすれば良いのか。人口減少を色々な部分で感じる。自然がたくさんある釧路での勉強など、地域をアピールする方法もあるかもしれない。

学校側回答（武藤）

ビルが多い都会の人は、自然が多い所で働きたいという声を聞いた。

（氏原）

出前授業について、高校訪問時に体験できる内容をアピールしている。本校ホームページでも体験内容を掲載している。また、加盟している連合会経由でも依頼を受け付けている。

戸田委員

人員不足・入学生減少は、専門学校の課題であると同時に、地域の課題でもある。常に問題意識を持ちながら進めていきたい。

4. 閉会（司会：氏原）

（1）挨拶（校長）

以上
（記録：若生）